

鶴ヶ島RC会報

Rotary


 UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025-2026年度 フランチェスコ・アレツォ R.I 会長

第2570地区ガバナー

相原 茂吉

第一グループガバナー補佐

齊藤 大祐

鶴ヶ島 RC 会長

佐々木龍児

鶴ヶ島 RC 幹事

市川 大

第2065回例会 令和8年3月 4日(水)

例会場 アルカーサル迎賓館 川越

【開 会】 SAA 向井宏倫
 【開 会 点 鐘】 12:30 佐々木龍児会長
 【四つのテスト】 向井宏倫委員

1. 真実かどうか 3. 好意と友情を深めるか
 2. みんなに公平か 4. みんなのためになるかどうか

【ロータリーの目的】

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；
 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

【会長の時間】 佐々木龍児会長

ロータリークラブの IM (インターシティミーティング) は、日本全国で年間におよそ 250 回～300 回ほど開催されています。具体的な内訳や算出の根拠は以下の通りです。

開催数の仕組みと推定

地区とグループの構成：日本には現在 34 の地区 (District) があります。それぞれの地区は、さらに「分区」や「グループ (G)」と呼ばれる小さな組織に分かれています。IM の開催頻度：IM は各グループのガバナー補佐 (AG) が主導し、原則として各グループで年度内に 1 回開催されることになっています。

計算の目安：

1 つの地区には通常 5～9 つほどのグループがあります。34 地区 × 平均 7.5 グループ = 約 255 回

地区の規模によってはさらに細分化されている場合もあり、全国合計では概ね 250 回～300 回の範囲に収まります。実際の他地区での実施事例を、いくつか具体的な形式 (講演型、ワークショップ型、奉仕直結型) に分けてご紹介します。ロータリーの年度方針や地区の課題に合わせて、多種多様な工夫が凝らされています。

1. ワークショップ・ディスカッション中心型

講演を聞くだけでなく、会員同士の「対話」をメインに据えた事例です。

事例：第 2660 地区 (大阪北部)

内容：「ロータリーの公共イメージ向上」をテーマに、グループごとに**「自クラブの強み・弱み」を分析する SWOT 分析ワークショップ**を実施。

工夫：各テーブルにファシリテーターを配置し、最後に出た意見をスマホアプリ (MentiMeter など) を使ってリアルタイムでスクリーンに投影。デジタル慣れしていない会員も、自分の意見が画面に反映される様子が盛り上がったそうです。

事例：第 2750 地区 (東京・パシフィック)

内容：「若手・中堅会員によるパネルディスカッション」。

工夫：パネリストに敢えて入会 3 年～5 年の「ロータリーに疑問を持っている世代」を登壇させ、「なぜ会費を払ってまで活動するのか？」という本音トークを展開。ベテラン勢からの共感と刺激を呼びました。

2. 地域の専門家・外部連携型

地域の課題を会員の職業スキルと結びつけた事例です。

事例：第 2580 地区 (東京・沖縄)

テーマ：「こども食堂の現状とロータリーにできること」。

内容：実際に地域で活動する NPO 代表を招き、基調講演を

実施。その後、各クラブが「資金援助」以外に**「自社の商品
やスキル」で何が提供できるか**（例：配送業なら運搬、Web
業なら広報支援など）をリストアップし、マッチング表を作成。

事例：第 2650 地区（京都・奈良・福井）

テーマ：「伝統産業の DX 化」。

内容：地元の老舗経営者と IT 起業家による対談。伝統を守り
つつ新しい技術をどう取り入れるかを議論し、職業奉仕の現
代的な解釈を提示。

3. 体験・親睦重視型

ホストクラブの個性を出し、参加者の記憶に残すことに特化し
た事例です。事例：第 2780 地区（神奈川）

内容：「ハイブリッド型 IM」。会場に集まるだけでなく、当日
の様子を YouTube で限定ライブ配信。

工夫：当日欠席した会員や、他地区のロータリアンも視聴で
きるようにし、チャット機能で質問を受付。佐々木様のような
Web 制作の知見がある方がいれば、非常にスムーズに実施
できる形式です。

事例：地方都市の某グループ

テーマ：「職業奉仕マルシェ」。

内容：IM の会場ロビーに各会員の会社のパンフレットや製品
を展示。休憩時間に「名刺交換スタンプラリー」を行い、他ク
ラブの会員がどんな仕事をしているかを具体的に知る機会を作
った。

佐々木様（第 2570 地区・第 1 グループ）へのヒント

例えば、**「地域企業の Web 発信力強化」**をテーマに、
佐々木様がモデレーター（司会進行）となって、各クラブの
「SNS 活用事例」を発表し合う IM などは、実益もあり喜ばれる
かもしれません。

具体案：

「Web とパンフレットで繋ぐ、新しいロータリーの輪」

基調講演：現代の広報戦略について

ワークショップ：自クラブの HP やチラシの「ここを変えたい」相
談会

総括：デジタル時代の職業奉仕とは

このような「専門性」を活かした企画は、他のホストクラブでは

なかなか真似できない強みになります。

これらの事例の中で、ご自身のイメージに近いものはありまし
たか？もしあれば、その方向でさらに詳細なタイムスケジュー
ル案などを作成することも可能です。

【幹事報告】

市川大幹事

1. ロータリーレート 1 \$ = 156円
2. バギオだより
3. 「ロータリー希望の風奨学金プロジェクト」記録 TV
放映案内

【委員会報告】

【出席報告】

齊藤大祐委員

◎ ニコニコ

会員数	出席者	出席 免除者	免除 出席者	出席率	修正 率
30 名	23 名	名	名	79%	

* 田中実行委員長連日のご準備感謝いたします。

齊藤大祐君

* IM よろしくお願ひ申し上げます。 田中憲一君

* いよいよ IM 月となりました。最後になるかもしれない
IM 皆さんで盛り上げていきましょう。 佐々木龍児君

* IM 頑張りましょう。

中瀧清君 渡辺道雄君 松崎峰夫君

岸田喜好君 宮前典子君 横山明美君

木村武志君 森治高央君 菊田真忠君

市川大君 向井宏倫君 藤原勇次君

加藤拓君 伊藤達也君

* 田中実行委員長を中心に全員の協力を結集して、
第1グループ都市連合会 (IM) を成功させよう。

山根義法君

* やっと復帰できました。

西澤克己君

* IM に向けて役割や流れをしっかりと頭に入れおきます。
よろしくお願ひいたします。

新井佑太君

【クラブ協議会】

田中憲一 IM 実行委員長

IM について

【閉会点鐘】 13:30

佐々木龍児会長

事務所：鶴ヶ島市商工会館内

鶴ヶ島市鶴ヶ丘 855

TEL049-271-6600

FAX049-271-6610

例会場：アルカーサル迎賓館川越

川越市鯨井新田4-11

TEL049-231-7777

E-mail:tsurugashima.rc@ah.wakwak.com

ホームページURL <http://tsurugashima-rc.jp>

例会日時：水曜日 12:30~13:30